

荒井信介選手、幸先よく1勝!!^{240ps}ギヤランで逆転!!

91全日本ダートトライアル第1戦 / CMSC群馬 荒井信介



九州は毎年雨のち晴れといった感じで、13日の練習走行もぬめぬめ状態。時間に余裕があったので路面が少し乾いてから走ろうと思いき、1本目の走行を遅らせ2本目はすぐ走りました。

路面が荒れていて車がポンポン跳ね乗りづらい。あげくにギャップで跳ばされてフロント左ナックルを曲げ、キャンバーがゼロに近くなってしまいました。しかたがないのでメジャーでトーイン調整し、タイヤ交換をして明日の決勝に備えました。

その夜また雨がポツポツ降り出し心配しましたが、ちょうど良いおしめり程度で14日の決勝スタートを迎えました。

午前中に2本走行するため、朝早くから路面を見て歩きましたが、1本目は360°ターンなどもうまくいかず、何か感じがおかしい。しかしタイムを見るとトップと、1.5秒差の4~5番目。

ようし2本目は頑張るゾと気合を入れてみんなの走りを見ていたら、ゴール手前の左直角コーナーでアウトにはらむとスピードが乗らずゴールまで大変そう。頭のスミに入れておきました。



全日本ダートラシリーズ第1戦優勝の荒井選手と愛車240PSギヤラン。

いよいよ2本目、AIIIクラスが走り始めるがタイムが伸びていない。おかしい。そして私の順番がきました。よしやるぞと気合を入れてスタート。

アクセルを踏み、ゆるめるな。路面の良い所へ行けと車を動かし、第1コーナーも第2コーナー奥のパイロンも、360°ターン、新設コースもと順調にこなす。と思いきや外側の砂山に登ってしまいました。踏み、どうにか乗り越える。

ゴール手前の左コーナー、インへ行けとハンドルを切り込みアクセル全開してゴール。終わった。

タイムを聞こうとパドックまで上がってきたら、登坂さんや久野君、大井君、小林さんとみんな来て

くれて「やったね」と声をかけてくれる。どうやらトップタイムが出せたらしい。タイムを聞くと1分32秒99、1本目1位の景山バルサーを0.4秒上回って優勝。シャンペンが頭の上から滴り落ちる、うれしい表彰でした。

240PSギヤランに乗り換えての1勝目を、全日本シリーズで挙げる事ができました。まだ始まったばかりの全日本シリーズ戦、これからが楽しみになってきました。気持ちを引き締めてがんばりますので、これからも応援してください。

全日本ダートラ第2・3戦でCMSC勢、大健闘!!

6月9日に名阪スポーツランド(奈良)で行なわれた全日本ダートトライアルシリーズ第3戦にて、我らがCMSC勢大活躍。AIIIクラスで、2位に荒井信介選手(CMSC群馬)、3位に砂塚明男選手(CMSC山形)、4位には同じく山形の赤羽政幸選手が入賞しました。

また、5月19日オートスポーツランド砂川(北海道)で行なわれた第2戦では、地元の宝田芳浩選手がAIIIクラスで2位に入賞しています。



第3戦の3位の砂塚選手。



第2戦2位の宝田選手。



鈴木功敏選手、逆転優勝!! 上位6台中5台がギャラン!!

CMSC山形/山形県ダートトライアルシリーズ第1戦/4月28日

4月28日、山形県ダートトライアルシリーズの第1戦「CMSC山形ラリープリントin舟形」を開催しました。

今シーズン、県では初のダートイベントということで多数の参加車を期待しましたが、クローズド12台を含めて全部で70台と、少々寂しい競技会となりました。



三菱自動車木全氏の総評。

ました。A-Iクラス8台、A-IIクラス19台、A-IIIクラスが14台で、特にA-IIIクラスは10台が三菱車でした(ミラージュ4WD 2台、VR-4が8台)。

快晴のなか9時にA-Iクラスの1号がスタート。転倒車が2台ほどありましたが順調に進み、午後2時には最終ゼッケン車がゴールしました。けが人もなく無事修了することができました。

今回の見せ場はA-IIIクラス。ギャラン8台の内の3台の240psと、残りの220psと205psとの新旧の対決となり、当クラブ員である福島鈴木功敏選手が、2本目で逆転してそのまま優勝しました。入賞6台中5台がギャランVR-4でした。

表彰式では、今回のテクニカルアドバイザーである三菱自動車木全氏より、各エントラントの総評をいただきました。これが大変好評で、競技会終了後も木全氏に聞きにくるエントラントが大勢いま



AIIIクラス優勝の鈴木選手。

した。

この後は7月21日に県ジムカーナシリーズの第2戦、10月6日には東北ジムカーナシリーズの最終戦を開催する予定ですので、多くの参加をお願いします。(CMSC山形 菅野 茂)

2年目を迎え、クラブ員一同やる気満々!!

CMSC愛知/クラブ便り

CMSC愛知も、皆様の仲間に入れていただき早くも1年が過ぎ、2年目を迎えました。

1年というのは長いようで短いもので、あっという間に過ぎてしまいました。振り返ってみますと、総会が2回、ラリー、ジムカーナのイベント参加、またクラブ員の交流をはかる海水浴や忘年会etc...と充実した1年を過ごすことができました。

さて2年目の今年は4月18日に総会が行われ、2年目に相応しく、CMSC会長の外川氏がはるばる愛知のために参加してくださいました。誌面をお借り

してお礼申し上げます。

総会では19名のクラブ員が参加し、組織変更や新役員選任、またジムカーナ練習会の企画、ラリー、ジムカーナの参戦の計画、リレーションなどについて話し合いました。特に会長の因選手は、昨年引き続き、全日本ラリー選手権にミニカダンガンZZ-4で参戦していく予定です。先日行われた第3戦ACKスプリングラリーでは、Aクラス7位と健闘しました。

今後、CMSC愛知クラブ員一同、おおいに盛り

上げていきたいと思ひます。



全日本ラリーで活躍中の因選手のミニカ・ダンガン

オフィシャル協力は勉強にもなって一石二鳥!!

CMSC岐阜/毎年恒例スタートナイトラリーへのオフィシャル協力



今年も毎年おなじみの「スタートナイトラリー」へオフィシャル協力として出かけました。今年は、JAF DE地区地方選手権と格式が上がり、どのような走りが見られるか大変楽しみで、クラブ員16名と友人3名を連れてスタート地点へ行くと、Cクラスは三菱車が圧倒的に多いことにビックリしました。

我々の担当は第1ステージのCP1箇所とSSの受け出し、第2ステージのCP1箇所とSSの受け出し、そしてポストです。やはりレベル、テクニックともに違いが太いに出ました。昨年と同じ道を使ったのかかわらずリタイヤの少ないこと、わたちの深いこと、全員がレベルの違いを痛感しました。

結果はやはりギャランの優勝で終わりましたが、SSをダート100%で開催することの難しさがよくわかったラリーでした。当クラブでもこのようなラリーをいつか開催できるよう、頑張りしたいと思います。

(CMSC岐阜 浅野博孝)

白井選手3連勝!! CMSC勢、連続して上位独占中!!

CMSC香川 / 全国CMSC最南端よりレポート

四国もやっとモータースポーツのシーズンが始まり、当クラブ員も積極的に参加しております。新人会員も少しづつではありますが、出場する人数も増えています。

出場する競技は主にダートトライアルですが、中でもA-IIIクラスは、今、四国ではCMSCクラス呼ばれています。というのは、まず第1戦で高竹選手が1位、白井選手が2位。続く第2戦、第3戦、第4戦と白井選手が連続優勝、(白井選手は第2戦が、3年ぶりの優勝、そしてどういうわけか3連勝中)、そして3戦とも2位に高竹選手、3位に近藤選手と目下当クラブで表彰台を独占状態なのです。

またラリーには、菅野選手をナビゲーター、白井選手のドライバーで、F・G地区シリーズ第1戦にギャランで出場しました。Cクラス27台中12位という成績(当クラブ主催の勉強のため、完走を目標、という言い訳でした)。次回からは入賞を目標に、ドライバーもナビもガンバルそうです。それでは次回のレポートをお楽しみに!!



3年ぶりの優勝、そして目下3連勝中の白井選手。

愛車ギャランと共にテレビに生出演!!

船津康一選手のテレビ出演報告/CMSC群馬 船津康一

今年はJAF地方ラリー選手権BC地区チャンピオンを目指していたのに、ミスコースした先でスタックしたり、チェックポイントを見逃したりと散々な成績でガックリしていた私に、なんとテレビ出演の話が突然やってきました。

番組は5月28日の「プレステージ」。テーマは「トレンドスポーツ特集」で、ジェットスキーやマウンテンバイク等の選手と共に、ラリーやダートラに打ち込むサラリーマンをレポートしたいとのことでした。

私の自宅、勤務先、群馬三菱自販、キャロッセ等で私の日常を取材、ダートラに出場して競技の様態を紹介、そして28日深夜はテレビ朝日スタジオに愛車ギャランと共に生出演、というスケジュールでした。この話をしたら、家族も職場も、そして群馬三菱でも大騒ぎ、しかしテレビに出たのは、自宅は玄関から出るシーンのみ、職場もほんの15秒程度でガッカリ。

そして5月19日のC地区ダートトライアル「トライアル・ド・ニッポン」に出場。優勝シーンをと頑張ったが、なんと着外。

気を取り直しての放送当日、ギャランと共にテレ朝スタジオへ。

司会のそのまま東さん、私がラリーに収入の大半を使っているのを知って呆れ返るが、スタジオ内は大爆笑。私はめげずに「金なんかなんとかなる。欲しいのは金メダルだ!!」と大見栄を切る。このセリフに、テレビを見ていた仲間が「感動した」と後日励ましてくれました。

そんなこんなで大笑いのテレビ出演でしたが、次回は「チャンピオンの船津康一選手です!!」と紹介してもらえるよう頑張ります。



テレ朝スタジオでポーズ!!を決める、船津選手。

20周年、さらには50周年を目指して!!

CMSC青森/設立20周年記念祝賀会を開催

日本一の桜が咲く春爛漫の5月4日、当クラブの設立20周年記念祝賀会を弘前市内のホテルで開催しました。昭和46年第1回のラリー開催以来、いろいろな困難をのりこえ、あっという間の20年でした。CMSC本部他関係者約120名の出席で、和気あいあいの中で一つの節目を祝うことができました。

クラブ在籍10年以上のメンバーは、本部外川会長より特別表彰を受け、今後ますますの活躍を期待されました。また祝賀会には、CMSC島根の杉坂氏よりの祝電を始め、全国CMSC各支部の皆様からお祝いをいただき、紙面を借りて厚くお礼申し上げます。

20年を30年、さらには50年とCMSC青森を続けていきたいと思っておりますので、今後ともよろしくご支援をお願いいたします。



特別表彰を受けるメンバー。

"優勝"はチームワークで!!若手も大活躍の耐久レース。

N1耐久レース参戦記 / CMSC山形 小川日出生

ミラージュレース参戦に加えて、今年はN1耐久クラスへの参戦を決めた当チーム(RCオガワ)ですが、十分な準備が出来ぬまま4月28日、ハイランドでの第1戦を迎えてしまいました。

マシンはあるもののドライバーがいない。予算のない我がチームは有名ドライバーの力をお借りするわけにもいかず、昨年からミラージュ東北レースに出場している鈴木一彦君、今年から出場の金田一直志君(CMSC青森)の力を借りることになりました。が、この二人、耐久レースに出たこともなければ見たこともない、というズブの素人。全く不安がなかったわけではありませんが、若手ドライバーの育成には絶好の機会であると信じ、申込用紙を提出するに至ったのでした。

予選は4番手。「耐久は予選結果はあまり問題ではない。チェッカーを受けるまではわからない。」との信念を持って決勝に臨みました。

決勝はさすがにワークスサイズが速く、タイム差は広がるばかり。各チームのピット作業が忙しくなってきた頃、イズズチームもピットインしてきましたが、作業時間が長引いている様子。この間、我がチームは順位を上げて2位に浮上しました。

当チームもピットに入りドライバー交替とガス補給。エンジンも足回りも問題はなく、何もかも予定どおりの47秒です。「あせらず確実に周回を重ねろ」の一言を忠実に守ってくれた鈴木君。急にひどくなった雨の中、チェッカーを受けたのでした。

総合10位、クラス2位は予想以上の結果で、高く評価したいと思います。若いドライバーとメカニッ

ク達に感謝します。ご苦労さん。

続く第2戦は、6月2日の富士スピードウェイ。セカンドドライバー鈴木洋一君、サー



左から、小川、金田一、鈴木の各選手。

ドドライバー杉野賢二君の二人は、富士には慣れているが、ミラージュは初めて。「確実に走って完走しようや」を合言葉で迎えた決勝は、朝から雨でした。時々激しく降ったり小雨になったり、タイヤのセッティングにはずいぶん悩みましたが、結局ヨコハマの21Rに決めました。

決勝は予選5番手で36列目からのスタートです。激しい水しぶきを上げて一斉スタート、全車1コーナーをきれいにクリア。そして2周目にRSオガワ号は2クラスのトップに立ったのでした。確実な計算的確なサイン。ピット作業も板についたか上手くなり、安心して走れ、2位のワークスサイズとのタイム差が20秒差、30秒と広がっていく。フロントガラスが曇る。ワイパーがうまくはけけない。しかし他にマシンに異常はなく、タイヤも問題はありません。

1時間毎のラップを一度も他車に譲ることなく5時間が過ぎました。残り25分と迫った時、突然300Rで目の前の2台がクラッシュ!!赤旗!!そしてレース終了となったのでした。劇的な幕切れでした。

メカニックの協力なしでは有り得なかった、この"優勝"の感激を、大切に今後の活動に活かしていきたいと思っています。少ない予算でも完走、入賞、



第2戦の優勝へ向かって走るミラージュ。

そして優勝は夢ではなかったのです。各地のCMSCの皆さん、一緒に走りませんか? CMSC栃木の皆さん、「筑波9時間耐久」では一緒に頑張りましょう。私達CMSC山形も、次の目標に向かって団結をより一層深め、前進していくつもりです。皆さん!!頑張りましょう。

'91全国大会のお知らせ

昨年に引き続き、ことしもCMSC全国大会を8月に開催します。皆さんふるってご参加下さい。日程は下記のとおりです。

- 日時：8月10日(土)
- 場所：福島県東北サファリパーク・エビスサーキット
- 内容：支部対抗ジムカーナ競技など

'91CMSCチャレンジカップ栄冠は誰の手に?

'91CMSCチャレンジカップ中間ポイント発表(1~5月)

'91年シーズンも前半戦を終えましたが、各支部からの活動報告が活発に寄せられており、今年も熾烈なポイント争いが予想されます。

まずクラブ別ポイントですが、4連破で意気上が

る山形が512点と開幕早々リードを奪っており、続く2番手に378点の香川、3番手には325点で群馬がランクされています。

個人部門では、各部門とも山形勢の活躍が目立ち、

まさに一致団結した強さを見せています。

まだシーズンは長く、各支部、各クラブ員とも逆転の可能性は大です。より一層の積極的な活動を期待します。

●クラブ別獲得ポイント

	1~5月	6~8月	9~11月	12月	合計
帯広	102				102
札幌	301				301
青森	286				286
岩手	8				8
山形	512				512
仙台	3				3
福島	0				0
栃木	22				22
群馬	325				325
埼玉	45				45
千葉	0				0
岐阜	185				185
愛知	96				96
島根	142				142
香川	378				378

●ラリー・ドライバー部門

渡辺俊昭	山形	96
小林正夫	群馬	74
富士文秀	青森	46
梶沢宏之	青森	40
千田俊二	札幌	36
大西康弘	青森	32
野村芳久	札幌	28
佐々木透	愛知	22
真弓知博	愛知	16
因敏郎	愛知	10

●ラリー・ナビゲーター部門

金子誠司	群馬	74
今野泰正	山形	64
安田弘美	青森	46
石田隆雄	青森	40
小山辰彦	愛知	26
高柳満	愛知	22
永沢裕之	青森	18
巻口実	札幌	10
岩崎政良	埼玉	7
瀬々徹	埼玉	6

●レース部門

小川日出生	山形	108
鈴木一彦	山形	46
瀬在仁志	埼玉	10
平井みつよ	埼玉	8
東江誠	山形	8
本郷勝義	仙台	2
吉沼昭彦	栃木	2

●スラローム部門

榎田正文	岐阜	150
白井修	香川	150
鈴木功敏	山形	134
高竹優之	香川	130
荒井信介	群馬	128
千田俊二	札幌	112
宝田芳浩	札幌	86
近藤健司	香川	78
菅野茂	山形	56
富士文秀	青森	40

●ポイントのつけ方

ポイント	順位											
	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9位	10位以下		
A	40	30	24	20	16	12	10	8	6	4	2	0
B	20	15	12	10	8	6	5	4	3	2	1	0

リタイアには予選不通過も含む

A = ラリー………全日本選手権、JMRC地区最上位シリーズ
スラローム……全日本スピード行事選手権、地方スピード行事選手権、JMRCシリーズ
レース………全日本選手権、地方選手権、ミラージュカップ
B = それ以外の競技会